



グリーンポトスニュース

58号：2002年6月

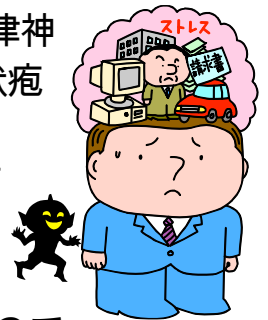
いよいよ6月、サッカーワールドカップの開幕です。また、6月5日にて、かめざわクリニックはお陰様で、6周年を迎えます。今後ともよろしくお願いたします。今月の話題は『星状神経節ブロック』です。

星状神経節ブロック

かめざわクリニックはペインクリニックを中心に、診療を行っています。ペインクリニックでは、様々な痛みを扱います。それぞれの症状にあわせて、神経ブロックを施行します。その数は、60種類以上にもなります。その数ある神経ブロックの中で、今日、もっとも多く行われているのは、星状神経節ブロックです。

星状神経節ブロックは、当初は頭痛や顔面神経麻痺などの治療しか用いられていませんでした。しかし、星状神経節ブロックをすることにより数々の病気が治ることがわかってきました。200以上の病気が治るとも言われています。200というのは少しおおげさな気がしますが、星状神経節ブロックが有効な主な病気として、先ほど話した頭痛、顔面神経麻痺の他に、花粉症、アトピー性皮膚炎、自律神経失調症、突発性難聴、肩こり、上肢の血行障害、メニエール病、带状疱疹後神経痛、生理痛などがあります。

では、なぜこのようにたくさんの病気に星状神経節ブロックは有効なのでしょう。本来、神経ブロックは、その支配神経領域の血行を改善します。血液は、酸素とともにいろいろな栄養素を運んできます。細胞組織の虚血状態を解消することに様々な病気を治すのです。



星状神経節というのは、頸椎の第7番目の横にあり、頭部と、肩や上肢にいく血行を支配しています。そのため、星状神経節ブロックは、頭部の血行つまり、脳の血行を改善します。

脳は、ご存知のように自律神経系、免疫系、ホルモン系を支配しています。これらは、ストレスにより、バランスを崩してしまいます。星状神経節ブロックは、ストレスによりバランスを崩した脳細胞の状態を修復するのです。現代はストレス社会です。星状神経節ブロックで、ストレス社会に打勝ちましょう。